

6A



12月17日(土) 13:30～ 京都弁護士会館にて
上映会&坂上香監督講演会開催!

取材許可まで6年、撮影2年——
初めて日本の刑務所にカメラを入れた
庄巻のドキュメンタリー

DIRECTED BY KAORI SAKAGAMI

PRISON

プリズン・サークル

CIRCLE

ぼくたちがここにいる
本当の理由

www.prison-circle.com

監督・制作・編集：坂上香 | 撮影：南幸男 坂上香 | 録音：森英司 | アニメーション監督：若見ありさ | 音楽：松本祐一 鈴木治行
製作：out of frame | 配給：東風 | 2019年/日本/136分/DCP/ドキュメンタリー ©2019 Kaori Sakagami





「罪」と「罰」について
多くを知らない。
けれど私たちは、この国の
厳罰化を叫ぶ声――
過熱する犯罪報道、

「島根あさひ社会復帰促進センター」は、官民協働の新しい刑務所。警備や職業訓練などを民間が担い、ドアの施錠や食事の搬送は自動化され、ICタグとCCTVカメラが受刑者を監視する。しかし、その真の新しさは、受刑者同士の対話をベースに犯罪の原因を探り、更生を促す「TC (Therapeutic Community＝回復共同体)」というプログラムを日本で唯一導入している点にある。なぜ自分は今ここにいるのか、いかにして償うのか？ 彼らが向き合うのは、犯した罪だけではない。幼い頃に経験した貧困、いじめ、虐待、差別などの記憶。痛み、悲しみ、恥辱や怒りといった感情。そして、それらを表現する言葉を獲得していく…。

DIRECTED BY KAORI SAKAGAMI

PRISON CIRCLE

監督は、『ライフアーズ 終身刑を超えて』『トークバック 沈黙を破る女たち』など、米国の受刑者を取材し続けてきた坂上香。日本初となる刑務所内の長期撮影には、大きな壁が立ち上がった。取材許可が降りるまでに要した時間は、実に6年。この塙の中のプログラムに2年間密着したカメラは、窃盗や詐欺、強盗傷人、傷害致死などで服役する4人の若者たちが、新たな価値観や生き方を身につけていく姿を克明に描き出していく。

処罰から回復へ
今、日本の刑務所が
変わろうとしている

www.prison-circle.com  prison_circle  fb.com/prison.circle

自由人権協会京都 関西合同例会

映画「プリズン・サークル」上映会&坂上香監督講演会

日 時: 2022年12月17日(土)13:30~17:00 (開場13:00)

場 所: 京都弁護士会館 地下大ホール (京都市中京区富小路通丸太町下ル)

参加費: 無料 定員: 先着80名

申込〆切: 12月14日(水)正午、または、定員到達次第(右のQRコードからお申し込みください)

共 催: 自由人権協会京都 (<https://jclu-kyoto.jimdofree.com/>)、

公益財団法人自由人権協会大阪兵庫支部、公益財団法人自由人権協会

問い合わせ先: TEL 075-241-1092 (京都市中京区富小路通丸太町下ル富友ビル3階 堀和幸法律事務所内)

※新型コロナウイルスの感染拡大状況により、中止又は定員を制限する可能性があります。その場合は上記ホームページに掲載し、メールアドレスを登録いただいた方にはメールでご連絡いたします。

